

夏の夜を涼しく

日本の夏の風物詩といえば怪談！という方も多いでしょう。海外では、ハローウィンやクリスマス頃に幽霊物語が雑誌によく掲載されるそうです。日本の夏が怪談の季節になったのは、先祖の霊を迎えるお盆があることも一つです。また、歌舞伎が「涼み芝居」として「四谷怪談」など幽霊が出る演目を上演したこともきっかけとか。怪談を読んで、涼しくなるか、興奮して暑くなるか、夏休みにぜひ、お試しあれ！

図書館通信

2019.8.1 発行 (No.40)

香川短期大学附属図書館



『芥川龍之介選
英米怪異・幻想譚』
933.78/AK



『ヴィクトリア朝
怪異譚』
933.68/VI



『凡人の怪談』
914.6/KU



『怖い間取り』
365.3/MA



『世界の幽霊屋敷』
147/GR

2019年 8月 開館予定表

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■…休館日 ■…閉館日 (館内整理日・学内行事日等) □…開館日

開館時間…9:00~17:00 臨時の時間変更は掲示でお知らせします。

私のおすすめ本

経営情報科 情報ビジネスコース
1年 金丸 奈々美

『一行怪談』
吉田 悠軌 著
PHP文芸文庫
913.6/YO



『ひょんなことから「肉」と呼ばれるものの本当の正体を知り、慌てて皆に教えてまわるもそんなことすら知らなかったのかと呆れられてしまう。』(吉田悠軌 一行怪談より引用)

すべての話が一文で構成されており、それぞれが独特の世界観を持っている。一文という少ない情報をもとにどういう意味なのか、この文章の彼は何を見たのだろうか、というようなことを想像しながら読むのがおすすめだ。

さらに一話一文でとても読みやすいため読書が苦手な人にもおすすめであることに加え一通り読むのが簡単のため何度も繰り返し読むことも推奨する。繰り返し読むことで意味も理解し、考え、あなたの感じる恐怖は確実に増すことだろう。

上に記した一文、何度も想像しながら読み恐怖を楽しむこと、素晴らしく良い読後感などに興味を持ってくれた方は是非「一行怪談」を借りて読んでほしい。